（４）主体性評価について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の３要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び教科・科目に係る個別テスト等の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「３．各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

②農学部

農学科

農学科では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「３．各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程、後期日程ともに10点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

獣医学科

獣医学科では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「１．求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下、主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに５点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び諸活動における自己申告書（23ページ参照）を10点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、長期に渡る臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限される場合においても、入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。